

日本YMCA同盟

THE  
YMCA

The Young Men's Christian Association News



No.792 2019

2019年12月1日発行（毎月1日発行）  
1947年10月27日 第三種郵便物認可  
本体価格45円（外税）（送料63円）  
発行／公益財団法人 日本YMCA同盟  
〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町2番11号  
TEL：03-5367-6640 FAX：03-5367-6641  
URL：https://www.ymcajapan.org/  
発行人／神崎 清一 編集人／山根 一毅  
印刷／あかつき印刷株式会社



# クリスマスに祈りを込めて



## OPINION

### 『何をしてほしい?』

柳本 伸良(日本基督教団 華陽教会 牧師)

「あなたのほしいものは何?」

クリスマス前にこう聞かれたら、あれもこれもとたくさん答える子が多いかもしれません。でも、「あなたのやりたいことは何?」と聞かれたら、答えに詰まってしまう人……子どもに限らず、結構多いんじゃないでしょうか?

みつかる、つながる、よくなっていく

あなたが、したい何かを「みつける」ために

YMCAのスローガン、新しくなったコンセプトも、この時代がよく反映されています。自分のやりたいことが見つからない。したい「何か」が分からない。だから、相談できる人ともつながらず、つながるべき相手が見えてこない……。

聖書の中にも「自分の頼るべき相手が見えない」人たちがいました。道端に座って、物乞いをしている盲人たち。彼らには相談できる人は見えません。しかし、イエス様の噂を聞きつけると、周りの迷惑も顧みず大声で叫び始めます。

「ダビデの子イエスよ、わたしを憐れんでください!」

そしてたいてい、みんなに止められる。「うるさい」「やめろ」「騒ぎを起こすな」……性被害に遭った女性たちが、いじめに遭った子どもたちが、波風立てずに黙るよう、促されるのと似ています。

助けてくれる人が本当にいるのか分からないのに、声を上げるのがどれだけリスクか、彼らはよく知っています。迷惑をかけないという「正しい」理由、周りと一緒に耐えるべきという「当然の」理由がある。ハラスメントに心が参っても、家族を犠牲にさせられても、ブラックな体質に困っていても「私はこうしたい!」なんてなかなか言えません。

自分のしたいことを見えなくする力が、この世の中にはいくらでも働いています。しかし、イエス様は周りが「うるさい」「黙れ」と言う中で、助けを求めて叫んだ人へ、こう言われる。「何をしてほしいのか?」……黙る必要はない、安心して言いなさいと。

一人で生きていけない人間が支え合い、分かち合うためのネットワーク、ポジティブネットの在り方も、黙らされてきた一人ひとりの声が大事にされる在り方です。そのためには、周りのニーズを聞こうとするあなた自身が、まず声を上げるべきかもしれません。

「そんなの無理だ」「分かっているだろ?」。周りの反応が分かるからこそ、ためらっている一人ひとりに、イエス様は言ってこられました。「何をしてほしいのか?」……「みつかる、つながる、よくなっていく」YMCAが、あなたの声で実現されますように。

(関西学院大学YMCAシニア)

(OPINION…意味は「意見・見解」など。『THE YMCA』では毎号、関係ある団体・個人からの意見や提案を掲載します。)

●全国のYMCAのさまざまな活動はこちらからもご覧いただけます。<https://www.ymcajapan.org>

裏面へ

## 香港で「アドバンスト・スタディー・プログラム」が行われています

アジア・太平洋YMCA同盟によるスタッフ研修プログラム「アドバンスト・スタディー・プログラム」が11月4日から約1カ月間にわたり香港中華YMCAのウー・クワイ・シャ青少年村（香港）で行われています。1982年にスタートしたこのプログラムは、今年で37回目を数え、これまでに458人のスタッフが学んできました。世界の人口の半分以上が暮らし、3607の言語が使われているアジア・太平洋地域。さまざまな民族や文化が存在する一方で、国や地域間での摩擦や紛争なども絶えることがなく、貧困や差別に苦しむ人びとも多くいます。また、多くの自然災害が起きる地域でもあります。このような地域にあるYMCAとして個人、民族、国家、倫理、宗教を超えて多様性を認めることを再認識し、一つのミッションのもとにYMCAのスタッフが一丸となることの重要性を学び、絆を深め、ネットワークを築きます。

この研修の土台となるのはイエス様の生き方に学ぶという共通の価値観です。12月のクリスマスを迎えるにあたり、イエス様への誕生と平和への思いを込めて、研修生がそれぞれの国の言葉でクリスマスメッセージを書きました。すべての人に平和と愛に満ちたクリスマスが訪れますように。

日本YMCA同盟 山根 一毅



世界の言葉でメリークリスマス

## Positive Net NEWS

ポジティブネット…互いを認め合い、高め合うことのできる、人の善意や前向きな気持ちによってつながるネットワーク

### 一人が良くなると世界はきっとこう変わる 第50回全国YMCAリーダー研修会

2019年9月21日～23日、東京YMCA山中湖センターで行われた全国YMCAリーダー研修会に参加しました。

特に印象に残っているのはロサンゼルス・ドジャースの日本顧問を務める鈴木陽吾氏の基調講演です。講演の中で、リーダーとして子どもたちに接する上で大切なことを学びました。一人ひとりにはそれぞれの気持ちがあり、その気持ちに合った対応をすることが大切で、1対1の関係と1人対全員の両方の関係を持つことが必要というものでした。また、「言葉以外のサインから子どもたちの気持ちを読み取ることが重要で、そこから信頼関係ができていく」という言葉はとても印象的でした。

さらに、ホスピタリティについて学ぶ機会もありました。ホスピタリティとは、人に対する思いやりのことです。ホスピタリティ精神を発揮するために、自分にはどんな強みと弱みがあるのか、話し合いました。自分の価値観というものはとても不確かなもので、状況によって簡単に優先順位が変化することを実際に体感し、セッションを通して同世代の仲間同志でも一人ひとり価値観は違うことに気付きました。仲間との、そして子どもたちとのかわりも、慣れてしまうと、深く考えずにこれまでの経験だけをたよりに続けてしまうことが多いですが、常に初心に立ち戻り自らと向き合いながら価値観や根本にあるものを見直すことが大切なのだと思います。

リーダーとしてだけでなく、自分を見つめ直し、今までの生き方や将来について深く考えることができました。

奈良YMCA 米川彩花



全国から集まった仲間とともに

### 台風19号被災地支援 子どもたちが安心して過ごせる居場所を提供

とちぎYMCAでは10月19日・20日の2日間、台風19号における災害に被災された地域の小学生を対象に、子どもの遊び場プログラムを実施しました。

被災した地域は、宇都宮市の中心部を縦断する

川が流れており、台風19号の直撃によって川が氾濫し、住宅地や商業施設が床上・床下浸水の被害に遭いました。災害直後は、泥かきや家具出し、災害ゴミの運搬などが求められている中、子どもたちが安心して過ごせる居場所が不足していました。

とちぎYMCA理事・ワイズメンズクラブ国際協会東日本区北東部部長の鈴木伊知郎さんのご協力をいただき、地域の小学校や自治会とつながり、子どもたちが安心して過ごせる遊び場プログラムを行いました。当日はボランティアリーダーが子どもたちと共に過ごし、レクリエーションや料理作りなどを行い、子どもたちは元気いっぴりに楽しく過ごすことができました。

小学校の校庭は泥の仮置き場となっており、体を思いきり動かせるスペースが少ない上、乾いた砂埃が舞っているためにマスクを着用して登下校をしている姿がいまだにあります。子どもたちが安心して過ごせる居場所は、子どもたちの成長過程に必要な要素だと感じています。今後も、子どもたちに寄り添い続け、1日1日を歩み続けていきたいと思えます。

とちぎYMCA 荒井 浩元



リーダーと一緒に楽しくゲーム大会!!

### 台風19号・15号被災地支援ポジティブネットYMCA募金

募金期間 2019年10月17日～2020年3月31日

募金目標額 3,000万円

YMCAでは復旧・復興支援ボランティアワークはもちろん、子どもたちへレクリエーションや心のケア、リフレッシュキャンプやプログラムへの招待などを中心に、全国のYMCAの協力のもと、特に日常生活を奪われた子どもたちに寄り添いながらコミュニティの復興支援を目指して、支援活動を進めていきます。

振込先 郵便振替口座 00130-4-696497 \*通信欄に「台風災害」  
日本YMCA同盟災害支援募金口 とお書きください。